

「前川国男の現代における意味 — 没 30 周年を迎えて」

パネラー 青木 淳 + 森 まゆみ + 松隈 洋
司 会 大宇根 弘司



建築家 前川國男

モダニズムを牽引してきた彼が、
我々に伝えたかったものは何か
建築家前川國男の現代的意義を考えてみたい…

写真提供：前川建築設計事務所

日本の近代建築の先駆者であった前川國男が没して今年で 30 周年にあたります。

その仕事は高い評価を得てきましたが、近年老朽化と併せて機能の更新に直面しています。どう対処することが望ましいのか。

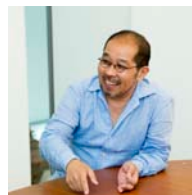
又前川國男は技術の重要性を強く訴え様々の取り組みを行いました。それらは今どう評価すべきか。

建築家の責任についても警鐘をならし、それを全うするために社会制度の改革を訴え、日本建築家協会を足がかりに献身的努力をされましたが今どのような状況になっているのか。

この機会にその様な事を問い直してみる必要があると思われま



司会 大宇根弘司



パネラー 青木 淳



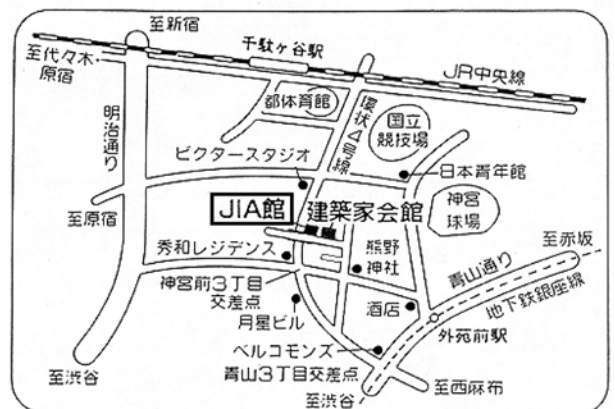
パネラー 森まゆみ



パネラー 松隈 洋

- 日時:2016年12月9日(金)18:30~21:30(18:00 受付開始)
- 場所: 日本建築家協会 JIA館1F建築家クラブ
渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291
- 主催:建築家クラブ運営WG(部会長 日高敏郎)
- 協賛:NPO建築家教育推進機構
- 参加費:一般1500円(飲食物代含む) 学生無料
- CPD:認定プログラム 2単位 (ID 00181736)
- 参加申込:どなたでも参加可能です。氏名、所属、連絡先及びCPD単位を必要な方は一級建築士番号(JIA 会員)又はCPD ID番号(他団体/協会)をご記入の上、前日迄に下記宛お申込みください。

■申込、問合せ:f-mtg@hidakaoffice.com(金曜の会 大出) 当日連絡:090-2542-9578



パネラーのプロフィール

パネラー



森まゆみ Mori Mayumi

1954年東京都文京区生まれ。早稲田大学政経学部卒業。東京大学新聞研究所終了。東京大学情報学環客員教授。

84年、地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊、2009年の終刊まで編集人を務める。98年に『鴉外の坂』で芸術選奨文部大臣新人賞、03年に『「即興詩人」のイタリア』でJTB紀行文学大賞、14年に『青鞥の冒険』で紫式部文学賞を受賞。そのほかサントリー地域文化賞、建築学会賞(文化賞)。著書に『「谷根千」の冒険』『女三人のシベリア鉄道』『海に沿って歩く』など多数。

パネラー



青木淳 Jun Aoki 建築家

1956年横浜市生まれ。82年東京大学大学院修士課程修了。1991年青木淳建築計画事務所を設立。1997年度日本建築学会作品賞、2004年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。代表作に「馬見原橋」、「ルイ・ヴィトン表参道」、「青森県立美術館」、「大宮前体育館」など。

パネラー



松隈 洋 Hiroshi MATSUKUMA

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学建築学科卒業、前川國男建築設計事務所に入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。2008年より京都工芸繊維大学教授。博士(工学)。専門は近代建築史。2013年より DOCOMOMO Japan 代表。著書に『残すべき建築』、『ルイス・カーン』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、編著に『前川國男—現代との対話』など。

司会



大宇根 弘司 Oune Hiroshi

1960年藤枝東高等学校卒。1965年、東京大学工学部建築学科を卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。山梨県立美術館の設計を担当。1982年、大宇根建築設計事務所設立。第7代JIA会長を務める。代表作に、芸術の森公園・山梨県立文学館、町田市立国際版画美術館、韮崎市立西中学校、三条市立裏館小学校など。